

# ふるさと大使と対談

〜ふるさと大使が見た丹波篠山の魅力〜

丹波篠山ふるさと大使にロックバンド「キュウソネコカミ」と、尺八奏者・井本蝶山さんが就任し、11月18日の丹波篠山市民の日の記念イベントで就任式が行われました。その後、「キュウソネコカミ」のメンバーを代表して出席されたヤマサキセイヤさんやオカザワカズマさん、井本さんが丹波篠山の魅力について語り合いました。(司会〓熊谷奈美さん)



丹波篠山委嘱状交付式の様子

**熊谷** 本日一日市長を務めた、熊谷奈美がお話を伺います。それでは、ふるさと大使に就任されたばかりですが、まず、丹波篠山のええところを教えてくださいませんか。

**オカザワ** 生まれてから、丹波篠山の地で過ごしてきました。自然はいまでもなく、食べ物がいっぱいおいしいのはいいなあと思いました。**熊谷** おいしいですよええ。特に秋がたまりませんよね。

**オカザワ** 多くの方が来られますね。**ヤマサキ** 私は和歌山県出身ですが、丹波篠山に来るのは2回目です。この前はライブで来させてもらったとき、いろいろな所を回ることはできませんでした。でも、今日はいろいろな所へ行かせていただきました。本当に魅力的で1日や2日では回り切れないくらいで、おもしろいところがいっぱいあるなあと思いました。

てこられて、まちをめぐってほしいですね。続いて、井本さんは、丹波篠山のええところはどこだと思いますか。

**井本** 私も食べ物がいっぱいというのを思っていたのですが、丹波篠山市は文化芸術の振興にも力を入れていらっしゃるなあと思っています。田園交響ホールは設備の整ったよいホールですし、私がシューベルティアーデたんばのコンサートに出演させていただいたこともありですが、有名なアーティストを招いて、地方にいながらも最高のレベルの音楽を市民の方楽しんでいただけるその取り組みは本当に素晴らしいなあと思います。

**市長** 今日は、2組の皆さんにふるさと大使になっていただいて大変うれしく思っています。今年の5月にはキュウソネコカミさんのライブに少し参加させていただきました。ライブでは飛んだりねたりして、すごい迫力でした。また、井本さんは、尺八奏者として丹波篠山で活躍されています。文化の薫る格調高いまちですから、がんばっていただきたいと思っています。

**熊谷** 若い方が魅力がいっぱいだと思います。若いうちから、ぜひ丹波篠山に来てね。

**市長** 丹波篠山は、最近若い方に人



尺八奏者  
井本 蝶山さん



キュウソネコカミ  
(ギター)  
オカザワ カズマさん



キュウソネコカミ  
(ボーカル・ギター)  
ヤマサキ セイヤさん



タレント・リポーター  
熊谷 奈美さん



丹波篠山市長  
酒井 隆明

陶芸もやりましたし、後で聞いたところ、福住の方にアーティストックな方がどんどん移住されているそうですね。来る前は、オカザワはすごい田舎に住んでいると思込んでいました。でも、来てみると魅力いっぱいのもちで、よいところだなと思いました。

**熊谷** ちなみに、陶芸で何をつくられたんですか。

**ヤマサキ** お香の皿と、お湯を入れたら持てないくらい熱くなりそうな急須をつくりました。

**熊谷** キュウソネコカミだから、急須をつくられたのですか。

**ヤマサキ** そうです。急須に「急須ネコカミ」とほりました。

**オカザワ** 1カ月か2カ月後にできるそうなので、とても楽しみにしています。

**熊谷** 作品ができればまた戻ります。

気があり、世界中を回ってこられた方に最後にどこが一番幸せに住むことができるのかと聞くと、丹波篠山なんですよ。しかし、地元におられる方がその魅力に気づいていないんです。ふるさと大使の皆さんが帰ってきて住んでいただけたらと思います。ですが、いかがですか。

**オカザワ** 久しぶりに帰ってきましたが、まちをいろいろと見させてもらって新しいお店とかもできていますので、何度でも帰ってきたいなあと思います。

**熊谷** そう、おしゃれになってますよね。今日は、丹波篠山市民の日ということで、こうしたらもつと、丹波篠山がよいところになるとか、こんなふうになってほしいとか、期待するところがありますか。

**井本** 丹波篠山は黒豆とか、陶芸とか、ちよっと年配の方が好まれるような地域っていうイメージが強かったと思います。でも最近は、先ほど福住の話も出ましたが、若い作家さんやアーティストの方が古民家をリノベーションしたお店で作品を販売されたり、カフェを営業されたりしています。若者に対して、魅力を感じていただける部分があつと広がってきていますので、そこをもつと全面にアピールして、ぜひ篠山に来てねっていうPRをしてほしいと

# 丹波篠山市民の日 記念イベント

市では11月18日を「丹波篠山市民の日」としてしています。市民の皆さんが中心となって、まちづくりを進めていくことの重要性を認識していただくため、まちづくりについての意識を高めようとイベントを行いました

イベントでは、市民活動団体の活動報告会が行われました。また、丹波篠山ふるさと大使委嘱式やふるさと対談のほか、丹波篠山ふるさと大使の熊谷奈美さんが一日市長を務めました。



## 熊谷奈美さんが一日市長に

熊谷さんは、酒井市長から委嘱状を受け取ると、市の幹部を前に「明るく元気に、市民が安心して暮らせ、愛されるまちづくりを」と訓示。その後、庁内を巡回して職員を激励しました。



## 市民団体が活動を報告

環境問題や災害支援ボランティア、有機農業の普及といった活動に自ら取り組まれている団体(丹波篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会、丹波篠山市災害支援ボランティアグループ「きずな」、篠山自然派)に、活動の契機や実績、市民が主体的にまちづくりを進めていくための考えなどが紹介されたほか、丹波流酒造り唄保存会や四季Oli Oliの方々による演奏などが披露されました。



**キュウソネコカミ**  
関西学院大学軽音楽部の同期を中心に結成された丹波篠山市出身のギタリスト・オカザワカズマさんが所属する5人組ロックバンド。2014年にメジャーデビュー



**井本蝶山さん**  
10歳から都山流尺八を永廣孝山師に師事。15歳で師範試験に史上最年少で登第。2008年にはオーストラリアで行われた尺八世界大会で優勝するなど、日本のみならず、世界的に活躍



**熊谷奈美さん**  
タレント、リポーターとして関西を中心に活動する傍ら、丹波篠山ふるさと大使を務め、特技のマラソンにて各地のマラソン大会に出場



熊谷奈美さん：熊谷さんは、酒井市長から委嘱状を受け取ると、市の幹部を前に「明るく元気に、市民が安心して暮らせ、愛されるまちづくりを」と訓示。その後、庁内を巡回して職員を激励しました。

熊谷奈美さん：熊谷さんは、酒井市長から委嘱状を受け取ると、市の幹部を前に「明るく元気に、市民が安心して暮らせ、愛されるまちづくりを」と訓示。その後、庁内を巡回して職員を激励しました。

井本蝶山さん：10歳から都山流尺八を永廣孝山師に師事。15歳で師範試験に史上最年少で登第。2008年にはオーストラリアで行われた尺八世界大会で優勝するなど、日本のみならず、世界的に活躍

熊谷奈美さん：熊谷さんは、酒井市長から委嘱状を受け取ると、市の幹部を前に「明るく元気に、市民が安心して暮らせ、愛されるまちづくりを」と訓示。その後、庁内を巡回して職員を激励しました。



特集②

令和2年度 決算状況・篠山再生計画

# 丹波篠山市の

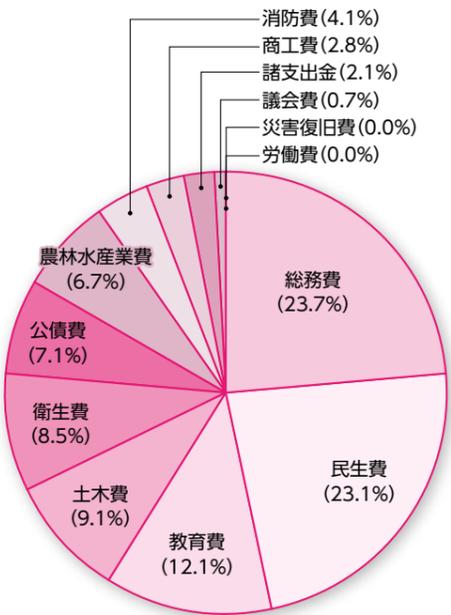
# の進捗状況をお知らせします 財政状況です

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の市の各会計決算や財政再建に向けた篠山再生計画の進捗状況などについて取りまとめました。皆さんに納めていただいた税金などが、この1年間でどのように使われたのか、また、財政はどのような状況にあるのかをお知らせします。  
問い合わせ 財政課 ☎552-5114

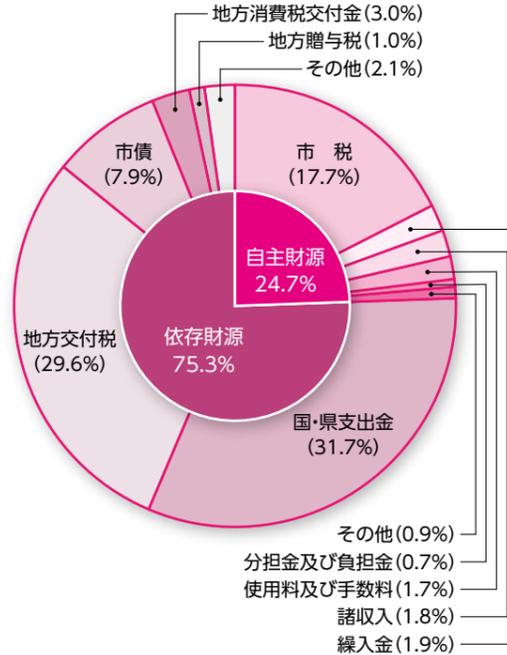
- 総務費 65億7,605万円**  
↳ 市政全般の業務に使うお金
- 民生費 64億2,169万円**  
↳ 福祉の推進に使うお金
- 教育費 33億6,090万円**  
↳ 公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使うお金
- 土木費 25億1,656万円**  
↳ 道路や河川、市営住宅の整備などに使うお金
- 衛生費 23億5,440万円**  
↳ 市民の皆さんの健康づくりやごみ処理などに使うお金
- 公債費 19億8,215万円**  
↳ 市の借金を返済するお金

- 農林水産業費 18億7,602万円**  
↳ 農業や林業の振興のために使うお金
- 消防費 11億3,853万円**  
↳ 消防活動や救急活動に使うお金
- 商工費 7億7,770万円**  
↳ 商業や観光の振興、企業誘致などに使うお金
- 諸支出金 5億7,931万円**  
↳ 基金の積み立てに使うお金
- 議会費 1億8,693万円**  
↳ 議会を運営するために使うお金
- 労働費 1,112万円**  
↳ 勤労者のための各種施設の運営に使うお金
- 災害復旧費 1,097万円**  
↳ 災害復旧のために使うお金

(一般会計) **歳出**  
総額 **277億9,233万円**



(一般会計) **歳入**  
総額 **282億6,776万円**



**依存財源**

- 国や県の基準に基づいて、割り当てられる収入
- 国・県支出金 89億8,594万円**  
↳ 市が行う仕事に対し、国や県から支給されたお金
  - 地方交付税 83億7,261万円**  
↳ 地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付されたお金
  - 市債 22億2,101万円**  
↳ 必要な事業を行うために、国や金融機関から借り入れたお金
  - 地方消費税交付金 8億4,700万円**  
↳ 地方消費税などの一部を人口によりあん分されて、県から交付されたお金
  - 地方贈与税 2億7,114万円**  
↳ 国の税金から一定の水準で配分されたお金
  - その他 2億7,560万円**  
↳ ゴルフ場利用税交付金 / 地方特例交付金 / 自動車取得税交付金 / 利子割交付金 / 配当割交付金 / 株式等譲渡所得割交付金 / 交通安全対策特別交付金 / 環境性能割交付金 / 法人事業税交付金

**自主財源**

- 地方自治体が自ら調達できる収入
- 市税 49億9,508万円**  
↳ 市民の皆さんから納められたお金
  - 繰入金 5億3,958万円**  
↳ 基金(貯金)や特別会計などから繰り入れたお金
  - 諸収入 4億9,923万円**  
↳ 市税の延滞金、預金利子、雑入などのお金
  - 使用料及び手数料 4億6,985万円**  
↳ 市営住宅の家賃や住民票などの証明書の発行で納められたお金
  - 分担金及び負担金 2億142万円**  
↳ 保育料や公共事業の受益者分担金などとして納められたお金
  - その他 5億8,930万円**  
↳ 繰越金、財政収入、寄附金

## 大きく3つの会計に分けて経理をしています

1. 一般会計(福祉や教育、道路の整備など、市政運営の基本となる会計)
2. 特別会計(特定の収入で特定の事業を行う会計)
3. 企業会計(事業の収入で、その事業の経費をまかなう独立採算制の会計)

# 1 一般会計決算額

一般会計の決算額は歳入と歳出の差し引きが4億7,543万円で黒字決算となりました。歳入総額は282億6,776万円(前年度対比12.8%増)で、市税などが減額となりましたが、地方交付税などが増額となったことから、前年度に比べて32億1,306万円の増額となりました。歳出総額は277億9,233万円(同13.1%増)で、公債費などが減額となりましたが、総務費や民生費などが増額となったことにより、前年度に比べて32億1,744万円の増額となりました。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、生活および経済支援対策として特別定額給付金事業や丹波篠山まるいのお年玉クーポン配布事業を実施しました。

# 2 特別会計決算額

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)	47億8,155	47億5,038
国民健康保険(直営診療所勘定)	2億1,099	2億1,026
後期高齢者医療	6億9,376	6億8,011
介護保険(介護保険事業勘定)	47億6,820	47億2,020
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,018	1,018
計	104億6,468	103億7,113

# 3 企業会計決算額

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	
水道事業	収益的収支	22億2,334	21億603
	資本的収支	1億316	10億6,055
計	23億2,650	31億6,658	
下水道事業	収益的収支	34億9,000	33億4,820
	資本的収支	9億695	24億9,926
計	43億9,695	58億4,746	

水道事業の決算の詳細は、来月号の挟み込み記事「たんばささやまの水道」に掲載予定です。



## 兵庫県内で比較すると、丹波篠山市の財政状況はどうか？

下グラフは、市の財政状況が県内の市町の中でどのような位置にあるかを見るグラフです。財政の健全化を判断する実質公債費比率と将来負担比率を軸に、各市町の財政状況を表しています。右上に行くほど財政状況が悪く、左下に行くほど財政状況が良くなります。

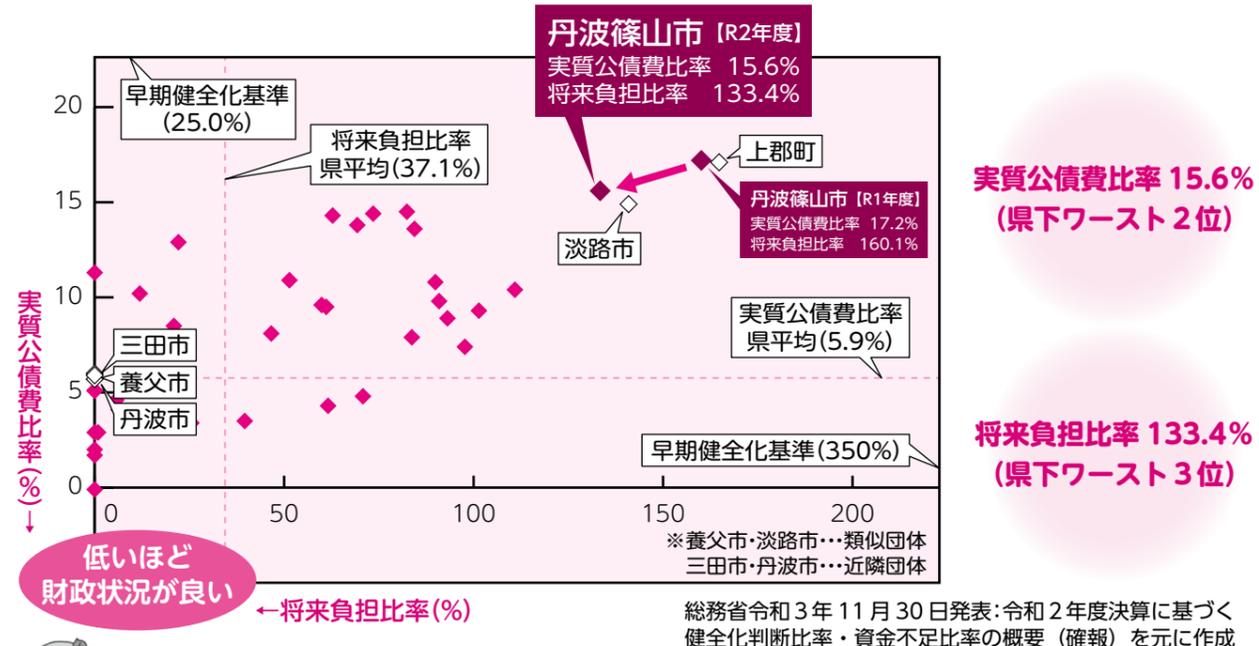
### 実質公債費比率とは

自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。25%を超えると早期の健全化を求められる。

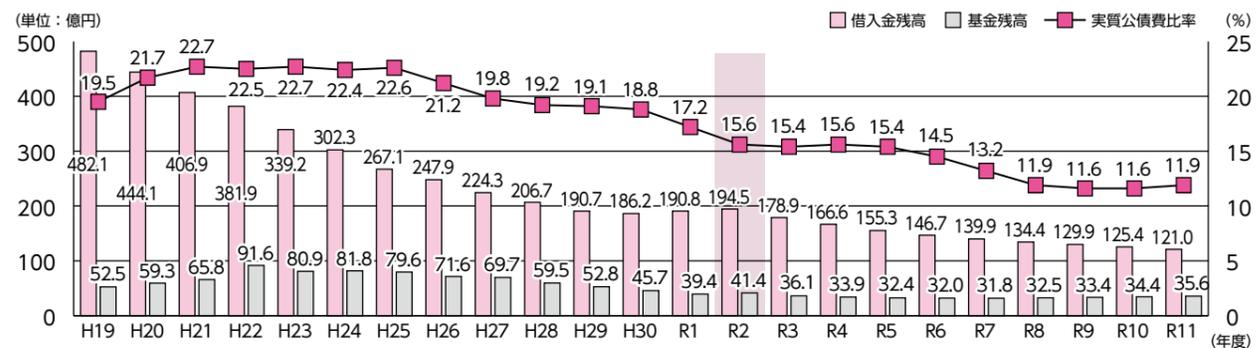
### 将来負担比率とは

自治体の財政規模に対する、将来支払う可能性がある負債の比率。350%以上で早期の健全化を求められる。

### 兵庫県内市町の実質公債費比率と将来負担比率の状況(令和2年度)



## 市の貯金や借金は？ 借入残高・基金残高と実質公債費比率の見込み(特別会計などは除く)



市の貯金にあたる基金の残高は、令和7年度に最も少なくなります。その後、少しずつ増加する見込みです。

市の普通会計の借金にあたる借入金の残高は、再生計画策定前の平成19年度は482.1億円でしたが、令和2年度末では194.5億円に減少しています。R3年度以降は少しずつ減少していく見込みです。

実質公債費比率は、ピーク時の平成21・23年度の22.7%から令和2年度末では15.6%に改善しています。その後も緩やかに改善する見込みです。

## 篠山再生計画の進ちょく状況など

### 篠山再生計画とは

行財政改革全般(行政の制度、組織、施設、施策事業のあり方、人件費など)に加え、農業、商工業の振興、雇用の確保、人口の定住など、まちの魅力を高めていく施策を盛り込んだ計画です。平成20年度に策定しました。



### 今後の見通し

## 令和2年度決算は黒字に引き続き健全化に取り組む必要がある

篠山再生計画を策定してから、13年が経過しました。財政健全化に向けて「定員・給与の見直し」などの140項目に取り組んできた結果、令和2年度決算は財政収支見通しの見込みどおり、収入支出のバランスが取れるとともに、実質単年度収支(当該年度の収入と支出との実質的な差額)が黒字となり、財政調整基金(急なお金が必要となったり収入が落ち込んだりした時に対応するための貯金)の残高も増加しました。

しかし、今後の財政収支見通しでは、令和3年度から令和5年度に一時的に収支の均衡が崩れる見込みです。

また、財政の健全化を判断する比率のうち、実質公債費比率は15.6%と全国で悪い方から22番目、将来負担比率は133.4%と全国で悪い方から38番目であり、兵庫県下の市町の中では、実質公債費比率は悪い方から2番目、将来負担率は悪い方から3番目という状況です。

引き続き財政健全化へ取り組み、持続可能な財政の基盤づくりを進めます。



## 令和2年度 効果額(平成19年度対比)

計画効果額 8億8,558万円

(平成20～令和2年度計:155億4,400万円)

実績効果額 9億5,768万円

(平成20～令和2年度計:164億5,529万円)

### 【効果額の内訳】

- 定員・給与の見直し 5億1,305万円
- 議員定数・報酬の見直し 3,048万円
- 公の施設の見直し 5,108万円
- 事務事業の見直し 2億7,124万円
- 補助金・負担金の見直し 7,174万円
- 自主財源の確保 2,009万円

## 篠山再生計画 推進委員会からの意見・提案

篠山再生計画については、策定から年数が経過し、また、一旦収支均衡もしたことから、現計画を見直す時期となっています。合わせて、公共施設等総合管理計画が更新時期にあることから、十分に調整を図り、どちらにも実効的なものとなるよう一体的に取り組む必要があります。

財政運営については、以前と比べ安定基調に入ったと考えられるため、財政健全化だけではなく、老朽化対策やまちづくりへの必要な投資など、バランスをとりつつ積極支出すべきと考えます。

また、人口減少対策についても大きな課題であるため、市の魅力発信や、企業誘致、駅や観光施設など有効性の高い資産活用など、ハードとソフト両面からの投資が人口減少の鈍化や関係人口増加への取り組みに繋がると考え、これまで以上に投資効果をもとに事業を選択し、課題へ対処するよう提案しました。

